

## 第 29 回テーマ「ゲノム医療の最新状況」

今回の研究会ではがん治療におけるゲノム医療の最新状況を取り上げます。

最近是一般向けのニュース番組や週刊誌などでも取り上げられることがありますが、11 カ所のがんゲノム医療中核病院を中心に全国百数十カ所の連携病院でがん患者の遺伝子を調べて最適な薬や治療法を選択する「がんゲノム医療」が受けられるようになってきています。

現状では先進医療や自由診療で、近い将来保険診療での受診が見込まれるがんゲノム医療は、がんの遺伝子変異等に対応した効果が期待される治療薬を選択することが可能で、患者の身体的負担の低減だけでなく、医療経済的にもメリットがあります。

一方、現状では各がん遺伝子変異に対応する治療薬が網羅されているわけではないため、さらに、パネル解析という解析できる遺伝子数等に制限がある手法のため、適切な薬剤が見つかる可能性は 3 割程度にとどまっています。また、各医療機関で使用しているパネルが異なり、受診病院で診断結果が異なる可能性もあります。

解析レポート作成のためには最新の医療、がんゲノム、及び薬剤情報を蓄積した知識データベースが必要ですが、このような情報は日々更新されるので、最新の文献情報を自動的に取り込み整理することができる等、最先端のシステム開発が必要です。

今回の研究会では、3 名の講師にプレジジョンメディスンやがんゲノム解析、知識データベースの現状を紹介いただいた上で、上記等の課題への対応を議論いただきます。最初に、筑波大学プレジジョン・メディスン開発研究センター・佐藤孝明先生に「未病社会に必要なプレジジョン・メディスン」についてご講演頂きます。続いて、国立がん研究センター・高阪真路先生に「がんゲノム医療の現状と課題」についてご講演頂きます。最後に、株式会社テクナー・西村邦裕先生に「がんゲノム医療における情報解析の現状」についてご講演頂きます。

多数の皆様のご参加と積極的なご議論をお願いいたします。

- 日時 2019年3月13日(水) 14:30-17:30
- 会場 日本橋ライフサイエンスビル 2F 201大会議室  
(東京都中央区日本橋本町2-3-11)
- アクセス  
[http://www.nihonbashi-lifescience.jp/asset/pdf/NihonbashiLifeScienceBuilding\\_MAP.pdf](http://www.nihonbashi-lifescience.jp/asset/pdf/NihonbashiLifeScienceBuilding_MAP.pdf)

■ 会費 無料

■ プログラム

14:30-15:30 「未病社会に必要なプレジジョン・メディスン」  
筑波大学プレジジョン・メディスン開発研究センター  
センター長 佐藤 孝明 氏

15:30-16:30 「がんゲノム医療の現状と課題」  
国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野  
主任研究員 高阪 真路 氏

16:30-17:30 「がんゲノム医療における情報解析の現状」  
株式会社テクナー  
代表取締役社長 西村 邦裕 氏

■参加登録

下記web サイト【参加申込み登録フォーム】より、ご登録下さい。  
座席数が限られておりますので、早めのお申し込みをお勧めいたします。

[https://www.jbic.or.jp/roku/workshop\\_form/](https://www.jbic.or.jp/roku/workshop_form/)

受付期間 2/5(火)~3/12(火)、定員80名

<お問い合わせ>

一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)

戦略企画本部 担当:永田・高嶋・秋場

[workshop@jbic.or.jp](mailto:workshop@jbic.or.jp)

〒135-8073 東京都江東区青海2-4-32TIME24ビル10F

電話: 03-5531-8553(直通) FAX: 03-5531-1560